

天栄中だより

鈴鹿市立天栄中学校

510-0258 鈴鹿市秋永町 1839

Tel 059-386-0444 Fax 059-386-0445

校長 山中 喜宏

先日、天栄中学校の南東の道路を車で走行していたところ、ちらほらと梅の花が咲いているのを見ました。「春の気配」を感じるとともに、少しずつでも確実に季節が進んでいることにホッとしました。

「2月は逃げる」とよく言われていますが、本当に時間の経過が早く感じられます。気が付けば、来週は2月も3週目に入ります。来週末からの3連休があけると、1、2年生はすぐに学年末テストがあります。

日中の気温が上がったり、また下がったりを繰り返す中で春に向かってはいるようですが、まだまだ寒い日は続いていますので、体調に気を付けながら、元気に学校生活を過ごしてほしいと思います。



外国にはどんな生活や文化があるの？

1年生の総合的な学習の時間に、多文化共生教育の一環として、外国につながるのある生徒が、母国の言語や食べ物、有名な場所、文化などについてまとめたスライドを協力して作り、各クラスで紹介してくれました。

日本と違う文化を、普段一緒に学校生活を送っているなかまから紹介されて、なかまのことを知り理解する中で、お互いの考えを尊重しあえる関係が築けたのではないかと思います。



授業の中でのQ&A (一部内容が1年生学級だよりと重複します。)

Q: 学校生活ってどんな感じ? もう少し知りたい!

A: 学校は午前と午後に分かれている。午後は18時くらいまでであるらしい。(学校と家庭で決める)

校庭は土ではなくコンクリート。学校でスリッパに履き替えない。部活はない。

母国語(国語)の授業もある。英語は小学校からはじめ、中学校で本格的に勉強。

日本より高校へ行く人は多くない。普通のテストは、100点ではなく20点が満点。

新しい靴を履くと、友達や家族がわざとその靴を踏む。(おまじないのような習慣)



授業のふり返りから (一部内容が1年生学級だよりと重複しますが、紹介します。)

- 自分の国のことだけでなく、他の国のことも知ることによって仲良くすることもできるし、自分の価値観を押し付けることもなくなりました。
- 小学校のときに聞いたこともあったけど、お金とか見たことなかったから、見せてくれてすごいなって

思った。外国の言葉ってめっちゃ難しいなって思った。また教えて。

- 自分は日本語しか話せないから、2つとも話せていて、とてもカッコイイなと思いました。
- 全く知らなかったから、ほとんどが新しく知ったことだったから、すごいなと全部思っていました。今回で結構のことを知ることができたんじゃないかと思う。

何枚取れた？ 百人一首大会

2月9日(月)、1年生国語科の授業の一環で、百人一首大会を行いました。

事前に予選を行い、当日は、予選結果によって分けたグループで札を取り合いました。また、読み手は1年生の先生方が順番で担っていただきました。

上の句を聞いたただけで札を取る生徒がいたり、下の句まで読んでいただいても、探すのに時間がかかっているグループがあったりしましたが、札を取るたびに歓声とため息が出て、盛り上がっていました。

普段、百人一首の中で詠まれる和歌に触れる機会は少ないと思いますが、この機会に、和歌の意味や詠まれた背景など、深く調べてみるのもいいかもしれませんね。



学校運営協議会を開催しました

2月10日(火)、第5回学校運営協議会を開催しました。

今回の協議会では、本校職員が今年度の取組をふり返し、成果と課題、今後の改善点をまとめ、各分掌の担当者が委員の方々に説明をさせていただきました。まとめた内容と説明をもとに熟議していただき、関係者評価としてご意見をいただく場となりました。

委員の方々の熟議の中で、「ICTの活用方法は教科によって違うと思うので、(教員が)個々に考えるのではなく、(教員同士で)意見を出し合って活用例を共有するといいいのではないか」「先進校の事例から学ぶこともしてみてもいいのでは。」「(教員同士の対話や先進事例から)新しいアイデアも出てくるのではないか」といったご意見をいただきました。

委員の方々の様々な視点からのご意見をもとにして、職員同士でさらに検討・協議して、次年度の本校の取組がさらに充実させていきたいと思えます。



おいしい豚汁ができました

2年生の家庭科の授業の一環で調理実習を行っています。手順に従って豚汁をつくりました。

野菜や豚肉を入れた際に出る灰汁(アク)もきれいにすくってから、みそを溶いていました。

今回、学校ではグループでなかまと協力しながらの実習でした。次は実習で学んだことを思い出して、お家でチャレンジしてみるのもいいと思います。安全に気を付けながら、自分のため、お家の方のために作ってみてください。1回と言わず何回も体験していくとコツがつかめて、自分の身になっていくと思います。試行錯誤や創意工夫を繰り返してうまくできると料理作りも楽しみの一つになっていくと思います。

